

鉄道博物館 企画展 「鉄道と制服～ともに歩んだ150年～」の開催について

- 1872（明治5）年に日本で最初の鉄道が開業しました。当初の制服はわずか6種でしたが、その後の鉄道の発達や世相を反映しながら度重なる改定を繰り返し、今日に至っています。
- 本展では国鉄および JR 東日本の制服を中心に、鉄道の歴史をふまえながら制服のたどってきた道のりを振り返ります。
- また、本展を担当した学芸員による企画展解説イベントや、お子さま制服撮影会などの鉄道制服に関連した様々なイベントを行いますので、ぜひお越しください。

- 1 会 期 2023年2月23日（木・祝）～5月22日（月）
- 2 会 場 鉄道博物館 本館2F スペシャルギャラリー1
- 3 入 場 料 無料 ※鉄道博物館の入館料のみでご覧いただけます。

【入館料（税込み）】

	一般	小中高生	幼児
前売料金(前日まで)	1,230円	510円	210円
当日料金	1,330円	620円	310円

※幼児は3歳以上未就学児。
※ご入館の際は指定のコンビニエンスストアで販売する時間指定の「入館券」（枚数限定）を事前にご購入ください。なお、障害者手帳等、各種利用券等をお持ちの方は事前に入館券をご購入いただく必要はございませんので、直接当館へお越しください。

- 4 主 催 鉄道博物館
- 5 後 援 東日本旅客鉄道株式会社
さいたま市



6 展示内容

第1章 鉄道制服のはじまり

江戸から明治にかわり、日本の近代化推進のため、政府は鉄道の導入を決定しました。すでに日本より約半世紀前に鉄道が開業していたイギリスから資金を借り、お雇い外国人を招聘して技術指導を受けながら車両や資材などを輸入し、官設・官営で建設していくことにしました。そして1872(明治5)年、新橋～横浜間に日本で最初の鉄道が開業した当時は、職員が着用する制服もイギリスからデザイン・生地ともに輸入して仕立てられました。本章では鉄道開業当初の制服などをご紹介します。



創業期の鶴見駅
1872(明治5)年頃



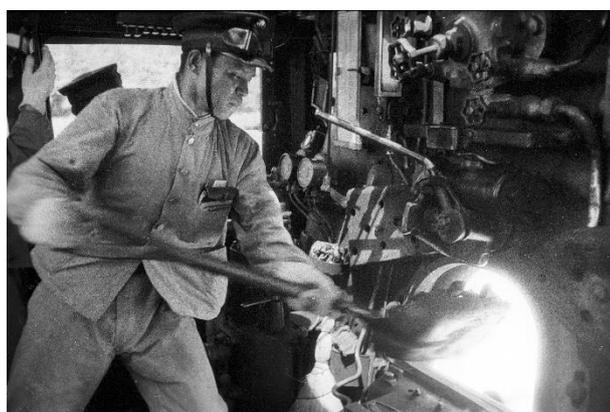
改札方(旅客掛)の制服
1872(明治5)年の複製

第2章 営業分野と輸送分野における鉄道制服の変遷

鉄道の発達とともに鉄道員の職種も増え、それに伴い制服の種類も増えていきました。本章では、営業分野(駅員など)と輸送分野(車掌、運転士など)に従事する職員の制服について、国鉄及び JR 東日本を中心に鉄道の歴史をふまえながらご紹介します。



判任官の制服を着た職員
1909(明治42)年頃



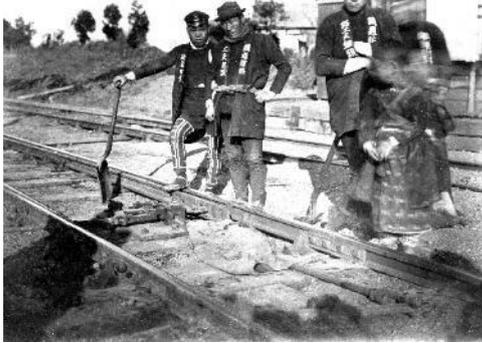
蒸気機関車の火室に投炭する機関助手
1955(昭和30)年



特急「はと」に乗務する女性列車
給仕、通称「はとガール」の制服
1959(昭和34)年頃

第3章 技術分野における鉄道制服の変遷

鉄道に関わる職種は様々で、お客さまと接する機会の少ない現場で働く技術分野の職種もあります。時代とともに機能的で、作業のしやすさを考慮した制服が作られました。本章では主に保線作業時の制服と大宮工場を中心とした鉄道工場の制服の変遷を紹介します。



大井連絡所の保線作業員
明治30年代



帝国鉄道線路組頭法被
1907(明治40)年~1908(明治41)年



蒸気機関車の修繕作業をする職員
1965(昭和40)年



戦時中の工場仕業服
1944(昭和19)年頃



JR 東日本の初代の制服(検修型)
1988(昭和63)年

第4章 資料編

本章は資料編と題し、制服が時代とともに変化していった過程を年表や規程類などの形でまとめて紹介します。また、制服の詳細なディテール(仕様)を記した貴重な文書や、営業分野の制服(主に接客業務に当たる一般職員)のボタンの変遷をパネルで展示します。



『鉄道寮事務簿』第三卷
1872(明治5)年
国指定重要文化財



『鉄道公報』号外
1934(昭和9)年8月18日付
達第654号



機関車の動輪マークが
刻印されたボタン
1909(明治42)年

7 企画展関連イベント

(1) 学芸員による企画展解説イベント

担当学芸員がお客さまと一緒に会場をまわりながら、企画展の見どころや詳しい内容をわかりやすく解説します。

■日 時：2023年3月25日（土）、26日（日）14：00～14：30

■集合場所：本館2F スペシャルギャラリー前

■定 員：15名（先着順）

■参加方法：開始5分前に集合場所へお越しください。

(2) お子さま制服撮影会

お子さま用に作られた明治5年当時の駅長制服、昭和39年頃の新幹線運転士制服を着て、展示車両をバックに記念撮影ができます。

■日 時：2023年4月4日（火）、5日（水）①11：00～12：00、②13：00～14：00

■実施場所：4月4日（火）

本館1F 車両ステーション 1号機関車前（明治5年当時の駅長制服）

4月5日（水）

本館1F 車両ステーション 0系展示棟内（昭和39年頃の新幹線運転士制服）

■対 象：小学生までのお子さま（制服サイズ90cm、100cm、110cm、130cm、150cm）

■定 員：各回20組（先着順）

■参加方法：事前申し込みは不要です。当日、実施場所へお越しください。

※スマートフォン、カメラ等をご持参ください。

(3) みんなでお揃いの服を着て“てっぱく”へ行こう!!

グループでお揃いの服装でご来館された中高生のお客さまに「てっぱくオリジナルノベルティグッズ」をプレゼントします。

■期 間：2023年2月23日（木・祝）～5月22日（月）

■受付場所：本館1F インフォメーション（入館券の半券をご提示ください）

■条 件：2名以上の中高生のグループが対象です。

「お揃いの服装」には、学校の制服やアクセサリ、帽子なども含みます。

※イベントの詳細は、以下にて順次お知らせいたします。

鉄道博物館ホームページ (<https://www.railway-museum.jp/>)

公式 Facebook (<https://www.facebook.com/teppaku>)

公式 Instagram (<https://www.instagram.com/railwaymuseum/>)

※告知内容は予告なく変更、または中止となる場合がございます。